

美術史を読むための読解講座



## 目次

第1課	ギリシア美術(griechischen Kunst)とローマ美術 (römische Kunst)	2
第2課	ビザンティン美術 die byzantinische Kunst	5
第3課	ロマネスク Romanik	8
第4課	ゴシック Gotik	11
第5課	ルネサンス Renaissance	14
第6課	バロック (Barock) とロココ (Rokoko)	17
第7課	新古典主義 Klassizismus	21
第8課	ロマン主義 Romantik	24
第9課	写実主義 Realismus	27
第10課	印象主義 Impressionismus	30
第11課	20世紀前半の美術 Kunst der Hälfte des 20. Jahrhunderts	33
第12課	戦後の美術 die Kunst nach dem zweiten Weltkrieg	37
第1課	解答例	41
第2課	解答例	44
第3課	解答例	46
第4課	解答例	49
第5課	解答例	52
第6課	解答例	55
第7課	解答例	58
第8課	解答例	60
第9課	解答例	63
第10課	解答例	66
第11課	解答例	68
第12課	解答例	71

## 第5課 ルネサンス Renaissance

### 【概要】

ルネサンス美術は、14世紀にイタリアに興り、16世紀までにヨーロッパ全土に展開した美術様式。科学と理性の力を基盤とした、古典古代の復興、人間性の回復、自然美の再発見を特徴とする。

イタリアのルネサンスは、まずフィレンツェ(Florenz)を中心に展開し、15世紀末にはローマ、ミラノ、ナポリなど各都市へと広がった。建築においては、古代建築の要素を取り入れ、人間的規模の調和と秩序を持つようになったことが特徴である。代表的な建築家として、初期はブルネレスキ(Filippo Brunelleschi, 1377-1446)やアルベルティ(Leon Battista Alberti, 1404-1472)、盛期ルネサンス(1500-1530頃)では、ブラマンテ(Donato Bramante, 1444-1514)や、彫刻家、画家としても名高いミケランジェロ(Michelangelo di Lodovico Buonarroti-Simoni, 1475-1564)らが挙げられる。絵画では、解剖学に基づく写実的な肉体表現、遠近法(Perspektive)を用いた合理的空間構成、人間らしい感情表現が見られるようになる。その一つの頂点は、前述のミケランジェロ、レオナルド・ダ・ヴィンチ(Leonardo da Vinci, 1452-1519)、ラファエロ(Raffaello Sanzio, 1483-1520)が活躍した盛期ルネサンス期であり、均整と調和のとれたその手法は西洋芸術の完成形として19世紀半ばまで絶対視された。黄金期を過ぎると、巨匠の手法に倣いながらも、誇張された肉付けや身体の引き伸ばし、非左右対称性や錯綜した空間構成、複雑な寓意(Allegorie)を特徴とするマニエリスム(Manierismus)を経て、バロックへと移行していく。

一方15世紀のアルプスの北側では、フランドル地方(Flandern)が北方ルネサンスの中心地となった。この地方では、油彩技法(Ölmalerei)がいち早く発達したことで細密な描写が可能になり、聖書の世界を日常世界で写実的に展開する独特の世界観を持つ絵画が生み出されている。ファン・アイク兄弟(兄 Hubert van Eyck, 1366頃-1426, 弟 Jan van Eyck, 1395以前-1441)やワイデン(Rogier van der Weyden, 1400頃-1464)らがその代表である。16世紀になると、ネーデルランドでは盛期イタリアルネサンスの様式に倣ったロマニスムス(Romanismus)の傾向が強まる。その一方で、風景と風俗の描写に特異な才能を示したブリューゲル(Pieter Bruegel, 1525頃-1569)や、地獄や怪物の幻想的な描写が特徴のボッシュ(Hieronymus Bosch, 1450頃-1516)など、独自のスタイルを高度に展開させた画家も現れた。ドイツでは、デューラー(Albrecht Dürer, 1471-1528)、ホルバイン(Hans Holbein, 1497/8-1543)、クラナハ(父)(Lucas Cranach der Ältere, 1472-1553)、グリューネヴァルト(1480頃-1528)らがこの時代を代表する画家である。

## 第5課 課題

Die Gemälde des *Isenheimer Altars* wurden im 20. Jh. zum vielleicht bekanntesten und meistbewunderten Werk der deutschen Kunst. ①Mit tief leuchtender Farbigkeit und unvergesslichen Motiverfindungen, insbesondere in der Kreuzigung Christi und der Versuchung des hl. Antonius, sprechen sie heutige Betrachter unmittelbar an und werden oftmals als empfindungsgesättigte, aufwühlende Visionen (あ wahrnehmen). Entsprechend gingen von ア ihnen immer wieder Anregungen für Künstler der Moderne aus, etwa für Max Ernst, Francis Bacon oder jüngst Sarkis.

(略)

### 【問題】

1. あ～おの動詞を過去分詞に書き換えなさい。
2. ア～エの言葉が指すもの、事柄を日本語で書きなさい。
3. ①～③の下線部を訳しなさい。

### ピックアップで語彙力アップ

### 肉から派生した言葉

今回の課題に出てきた Inkarnation は、キリスト教用語では神が人間の形となって現れるという意味で、「受肉」または「托身」と訳されます。この語の Karn の部分は、ラテン語で肉を意味する caro に由来しており、in(中に)+karn(肉)+-ation(状態)で、肉をまとうことを意味しています。日本の肉屋さんや焼肉屋さんで、「カルネ」や「カルネステーション」といった店名のものでありますが、これらも「肉」という意味からつけられたものでしょう。

同じく Karn から派生した重要なキリスト教用語に、Karneval があります。カーニバル、または謝肉祭と訳され、リオのカーニバルやケルンのカーニバル、ヴェネツィアのカーニバルなどの、盛大で華やかなお祭りの様子をイメージされる方が多いでしょう。語源は、ラテン語で carne vale(肉よさらば)または canem levare(肉を減らす)とされており、断食と苦行が義務とされた復活祭までの 40 日間(四旬節)の直前に、肉を食べて楽しく騒ぐということに由来します。ドイツ語では、カーニバルを意味する言葉として他に Fasching、Fastnacht もありますが、こちらは断食を意味する Fasten から派生しています。現代では、断食までする人はあまりい

ませんが、食事を制限したり、タバコやお酒、テレビゲームといった悪習を節制して、自分を見つめなおす期間として四旬節を過ごすことが多いようです。

他に、Karnを含む言葉として、肉食動物や食虫植物を意味するKarnivoreも挙げられます。ラテン語で肉を意味する carn と、貪り食うという意味の vorare から成っています。また、Inkarnationの派生語として、少し薄い赤色のイメージからInkarnatrot(肉色)、Inkarnatkleee(ベニバナツメクサ)などがあります。また、ドイツ語では Nelke と言い、日本語ではカーネーション(carnation)と呼ばれる花もまた、肉の色をした花というところからこの名前になっています。

SAMPLE